

日本ーベトナム間の貿易業務効率化に向けた実証試験への参加について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、貿易取引の効率化に向け、ブロックチェーン技術を活用した貿易電子化プラットフォーム（以下、「PF」）「TradeWaltz」を提供する株式会社トレードワルツ（代表取締役社長：小島 裕久、以下「トレードワルツ社」）と「TradeFlat」を提供するベトナムのIT企業 FPT Information System CO., LTD（CEO：Tran Dang Hoa、以下「FPT IS社」）、FPT ジャパンホールディングス株式会社（CEO：ド・ヴァン・カック、以下「FPT社」）が開催する貿易書類データの連携実証に参加しました。

貿易取引は、いまだに紙ベースの書類が多く、Eメールでの対応、システムへの手入力、書類間の照合など多くの非効率な業務が長年に亘って残存していることから、各国で貿易電子化PFを通じた業界横断のデータ連携の実現により、貿易業務の電子化・効率化を目指す動きが加速しています。

みずほ銀行はこのたび、トレードワルツ社が推進する日ASEANにおける貿易取引のデジタル化の一環として実施された日本ーベトナム間のデータ連携実証（概要は以下）に参加しました。国境を越えたスムーズなデータ連携が可能であることが実証され、今後の貿易業務効率化の更なる拡大が期待できる結果となりました。

<実証試験概要>

- ・ 目的：貿易電子化PFであるTradeWaltz（日本）とTradeFlat（ベトナム）間の貿易取引データ連携の検証
- ・ 期間：2024年1月22日～1月26日
- ・ 内容：日本企業（輸出）とベトナム企業（輸入）間の貿易取引について、それぞれ企業・銀行が接続する両PFを通じて信用状の発行/通知ができるか、船積書類のデータ連携ができるかを検証
- ・ 参加企業：みずほ銀行、トレードワルツ社、FPT IS社、FPT社、現地大手銀行、大手商社2社

今後も〈みずほ〉は、広がる貿易業務の電子化・効率化の取り組みを推進するとともに、日本・アジアの経済成長に向け、トランザクションバンキングビジネスも一層拡大していきます。

以上